

未曾有の大震災を乗り越えて — 東日本大震災の復興支援について —

2011年3月11日に発生しました東日本大震災により、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。三菱ふそうでは、被災地の皆様、被災されたお客様に対し心痛めると共に、1日でも早い復興を願い、会社全体で活動してきました。

被災地の1日でも早い復興のために

今回の東日本大震災に際し、ダイムラー社では、被災地域に200万ユーロ（約2億3,000万円）^{※1}の寄付を行うとともに、被災地の復興支援のため、50台の車両を寄付しました。これらは、日本財団を通じ、岩手、宮城、福島、茨城の4県にまたがる各地域へ寄付されています。

これらの車両は、各地の復興作業の最前線で今も大きな力となり続けていますが、一部では、住民の皆様が少しでも日常生活に戻っていただけるようにサポートする活動にも従事しており、各地域の事情及び復興状況に応じて広く活躍し続けています。



瓦礫を積み込む岩手県山田町のゼトロス



ゼトロスとキャンターが2台で協力して作業
(宮城県石巻市)



宮城県石巻市では、キャンターが児童向けの移動図書館として活躍中



変わらぬお客様へのサポートのために

震災以後、被災地の復興活動のためには、トラック・バスの活躍が不可欠であり、一日も早く全支店にて平常の業務を再開し、車両の供給・サービスに万全を期することを目指して、私たちは、必要なエリアには全社的なバックアップを行ってきました。

そして2011年9月3日には、甚大な被害を受けた宮城県の仙南支店が、スタッフの絶え間ない苦労と多くの社員のサポートの甲斐もあり全面的に復旧し、全支店にて通常の営業体制に戻りました。

これからも三菱ふそうは、復興への道のりを全面的にサポートしていきます。



仙南支店の前に積み上がった
瓦礫やヘドロの除去作業



2011年9月3日、約半年ぶりに
営業を再開した仙南支店

私たちができること

被災された皆様に支援したいという世界各地の従業員の強い願いを受け、ダイムラー社では、労使が共同で募金キャンペーンを行い、多くの方々からの支援が義捐金という形で、被災地に送られました。

また、このほかにも様々な形で義捐金や支援物資などが被災地に送り届けられました。

また、三菱ふそうでは、労使によるバックアップの下、多くの社員が被災地にてボランティア活動に参加し、復興作業に協力しました。

※1：寄付を行った当時（2011年3月）のレートにより、算出した金額